



岐阜SBS/AHTシンポジウム
揺さぶられっこ症候群 (SBS)
～わかっていること、わかっていないこと～

You,
Unlimited



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

日時

2019年 **2月14日** (木) 13:00-18:00 (開場12:30)

会場

朝日大学 5号館512講義室 〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

「揺さぶられっこ症候群 (SBS)」「虐待による頭部外傷 (AHT)」に関する虐待やえん罪の問題点について、海外の専門家とともに考えます。

事前申込必要・参加費無料・逐次通訳あり

お問い合わせ先

科学的知見にもとづいた科学鑑定を目指して
国内外の最新の「知」を集結した
シンポジウムを開催します。
みなさま、奮ってご参加ください。

龍谷大学 犯罪学研究センター
[TEL] 075-645-2184 [FAX] 075-645-2240
[E-mail] crimrc2016@ad.ryukoku.ac.jp
[URL] <https://crimrc.ryukoku.ac.jp>
[Twitter] @Ryukoku_CrimRC

テーマ

揺さぶられっこ症候群 (SBS) ～わかっていること、わかっていないこと～

企画趣旨

家庭内で子どもが頭の中に出血を起こしたとき、親の虐待が疑われることがあります。親が子どもと引き離されたり、逮捕起訴されたりしてしまうことも起きています。「揺さぶられっこ症候群 (SBS)」「虐待による頭部外傷 (AHT)」といわれ、虐待だとされてしまうのです。

このような状況に、諸外国では疑問が呈されています。日本でも、子どもを虐待したと誤って判断される事例があるとの懸念が高まっています。

虐待は許されませんが、えん罪もけって許されません。どこが問題点なのか、これからなにを研究していけばいいのかを冷静に検討することが必要です。

本シンポジウムでは、SBSとAHTについて科学的な観点から議論したいと思います。

海外ゲスト

ウェイニー・スクワイア
(Dr. Waney Squier)



Copyright Ryan JW Smith

元オクスフォード大学ジョン・ラドクリフ病院医師
(神経病理学)

アンダース・エリクソン
(Dr. Anders Eriksson)



ウメオー大学 (法医学)

会場 & アクセス

朝日大学 5号館512講義室

〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

<http://www.asahi-u.ac.jp/>

■ JR東海道本線「穂積駅」下車 朝日大学スクールバス(無料)で約5分

■ 新幹線「岐阜羽島駅」下車 車で20分



下記QRコードにてネット申込を受け付けています。ご利用ください。

お申込み方法

ネット申込：<https://goo.gl/forms/HJI9BDKygyg5rg153> にアクセスし、Googleフォームに必要事項を登録ください。

Fax申込：龍谷大学犯罪学研究センター (Fax 075-645-2240) まで、

「2/14 岐阜SBS/AHTシンポジウム参加希望」を件名にして、

お名前・ご所属・連絡先を明記の上、送信してください。



主催 龍谷大学犯罪学研究センター、岐阜県弁護士会、中部弁護士連合会、日本弁護士連合会

共催 SBS検証プロジェクト、えん罪救済センター、
龍谷大学刑事司法未来プロジェクト (弁護士金子武嗣基金)、
甲南学園平生記念人文・社会科学奨励助成金「児童虐待事件における冤罪防止のための総合的研究」